制作作品の評価基準

APS RDB蔵書管理から、JavaScriptのプログラム

# 本資料の目的

本資料は、APS RDB蔵書管理（JavaScript版）をベースに制作したプログラムを評価する際の基準を示すものです。三観点（知識・技能、思考・判断・表現、態度）別に記載しています。

なお、あらかじめAPS RDB蔵書管理（JavaScript版）は、短時間（１〜２時間）での作品制作には用いにくいことを確認してください。データベースの設計、SQL文の学習など、事前に理解するべき事柄が多いためです。十分な時間をとって、他の教材を用いるなどして、関連する事柄の学習を行った上で、ご利用ください。

短時間で作品制作を行いたい場合は、他のAPSの利用を推奨します。

# 使用上の注意

本資料が示す評価の基準は絶対的なものではありません。生徒・授業・学校の事情や学習状況に合わせて、適宜調整をしてください。

# 評価基準

## 知識・技能の観点の評価基準

APSの「カスタマイズ」で取り上げられている内容を応用し、APSが提供するファイルの変更によって実現しているとき、「おおむね満足できる」（B）としています。

学習した内容をもとに、テーマを新規に設定し、乱数と条件分岐の両方の機構が動作するプログラムを作っている場合、「十分満足できる」（A）としています。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * SQL文の例を実行して、結果を得ることができる。（APS教材「SQL文を実行してみよう」に相当）  |  | | --- | | 実行するSQL文の例 | | * SELECT文を用いて、テーブルから全件を検索する。列名を指定して結果を得る。 * INSERT文を用いて、テーブルにデータを挿入する。 * DELETE文とWHERE句を用いて、指定した条件に合致するデータをテーブルから削除する。 * UPDATE文とWHERE句を用いて、指定した条件に合致するデータを更新する。 | |
| 「十分満足できる」状況（A） | * データベースのデータを、アプリケーションの画面の操作で行えるようにする（APS教材「任意の在庫数を登録できるようにカスタマイズしよう」に相当）。 * SQLの高度な機能を利用できる（APS教材「付録：集約関数や結合を体験してみよう」に相当）。 |

## 思考・判断・表現の観点の評価基準

テーマに基づいた一連のコンテンツが完成できたら、「おおむね満足できる」（B）としました。

さらに、テーマにあった工夫を考え、適切に判断して表現できた場合に、「十分満足できる」（A）としました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * JavaScriptのプログラムと、SQL文のプログラムを分けて考えることができる。 * SQL文のWHERE句の意味（検索条件の指定）を理解した上で、適切なデータを検索するための条件を判断できる。 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * ER図を確認して、テーブル（表）とテーブルの間の関係を説明できる。 * SQL文の参照・挿入・削除・更新の操作について、適切な利用方法を判断して使っている。 |

## 主体的に学習に取り組む態度の観点の評価基準

コード作成とその結果の確認を繰り返し、粘り強く制作にあたっていることと、技術情報を自ら調べ、試用して、作品に取り入れようとしていることを評価するようにしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * SQL文を編集した後、反映された結果を確認して、編集内容と結果から、技術・知識を理解しようとしている。 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 作成したSQL文が思ったような結果をもたらさないときに、粘り強く原因を調べ、意図通りの動作にしようとしている。 |

※「態度」の観点の性質上、制作された作品ではなく、制作中の態度の評価になります。授業中の観察や、ワークシートに記録された内容を評価の材料としてください。